# 書き初め大会

## 三分の一は塾に通う

横越小学校

横越小学校では、一月十三日全校による書き初め大会を行ないました。

この書き初め大会は、毎年この時期に行なわれており、一・二年生は硬筆で、三年生から六年生までは、毛筆で書き、三年生は「春立つ」、四年生は「新年会」、五年生は「初春の空」、六年生は「正月竹馬」と、新春の書き初めらしいめでたい文字を書きました。

小学校では三年生から国語の教科の中で毛筆書写という時間があり、先生の話しでは「書道塾に行っている児童もかなりあり、全校の三分の一くらいが習いに行っている」ということで、書道ブームの一端がうかがわれ、中にはしっかりした字も見られました。

この書き初めは、翌十六日から二十三日までの八日間、各教室の廊下に展示されました。

作品に見入る児童

## ★主な行事予定★

| | |
|---|---|
| 2/6 | 木津歴史を探る会（木津分館） |
| 7 | 村建築組合総会（公民館） |
| 8 | 定例民生委員協議会　〃 |
| 9 | 農業共済運営協議会（役場） |
| 9 | 就学指導委員研修会（五泉） |
| 11 | 中学近郷排球大会（村松町） |
| 12 | 小阿賀改修促進協議会（亀田） |
| 14 | 珠算検定試験（小学校） |
| 14 | 沢海球根組合総会（ふじた） |
| 14 | 中学籠球地区大会 |
| 17 | 教育委員会（教委） |
| 17 | 国保運営協議会（役場） |
| 17 | 小学校参観日 |
| 23 | 市町村教育委員総会（新潟） |
| 23～25 | 中学校期末テスト |
| 24 | 高令者大学（公民館） |
| 24 | 青色申告個別指導会（商工会） |
| 26 | 新江土改総代補選 |
| 28 | 村職員採用試験（公民館） |
| 3/2 | 高令者大学（公民館） |
| 3 | 6年生を送る会（小学校） |
| 5 | 新1年1日入学　〃 |
| 10 | 生徒会総会・3送会（中学校） |
| 10 | 定例議会招集 |
| 15 | 中学校卒業式 |
| 24 | 小学校卒業式 |
| 24 | 中学校終業式 |

## 新春マラソンで今年もスタート

横越新田こども会

子どもたちの集団活動をとおして〝一人歩きのできる人間に育てよう〟と地域が自主的に育成活動を進めている「横越新田子ども会」では、正月二日に恒例の〝新春マラソン大会〟を開きました。

当日は気圧前線の通過で荒れ模様の天候でしたが、父兄を混いた一年生から六年生約七十余名が参加し、午前十時準備体操のあと公民館から大規模農道の土地改良記念碑まで（折返し二㌔）のコースを一斉にスタートしました。

レース直後に折悪しく北風とともにみぞれ模様となりましたが、全員が元気よく完走して新春スタートにふさわしいファイトを見せました。

レース後、公民館講堂で用意された「カップラーメン」で暖をとり、労をいやしました。

## 今月の工事

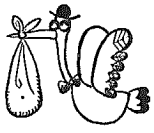
場所　川根谷内
工事名　公共下水道管渠布設二―一工事（延長百㍍口径六百㍉㍍）
請負額　二、七一〇万円
期間　昭和56・12・28～57・3・17（80日）
請負者　遠藤組（横越村）

## おめでたよろこび

（12月届）

| 新郎 | 新婦 | 地区 |
|---|---|---|
| 「加藤」渋谷豊京 | 「加藤」渋谷豊京子幸 | 新沢津海市下 |
| 「伊藤」中村弘 | 「伊藤」中村弘子天 | 横越小杉下上 |
| 「石川」本間博 | 「石川」本間博子悟 | 新横津越市上 |
| 「岩津」渡辺孝君 | 「岩津」渡辺孝代司 | 新川根谷内市内 |
| 「五十嵐」佐藤弘恵 | 「五十嵐」佐藤弘恵美子 | 亀横田越町上 |
| 「五十嵐」阿部和道 | 「五十嵐」阿部和道子以 | 新沢海潟市上 |

## おめでたよろこび


（12月届）

| 新生児 | 親名 | 地区 |
|---|---|---|
| 和澄 亜樹 | 孝男 駒込 | 西横川越町上 |
| 中村 理恵 | 芳則 横越上 | 安川田町 |
| 長谷部 賢 | 松雄 川根谷内 | 新木津市 |
| 石川 大輔 | 岩雄 川根谷内 | 横越中 |
| 神田 典明 | 秀夫 横越中 | 「鶴巻」阿部良 |
| 市村 哲広 | 勘一 横越下 | 「山口」大竹勝 |
| 荒木 亮 | 正之 横越中 | 「神田」高橋秀 |
| 加藤 美樹 | 国雄 木津上 | 「五十嵐」樋口泰定 |
| 阿部美津江 | 力 横越下 | 新駒潟市込 |

## おみやく

（12月届）

| 故人 | 年令 | 地区 |
|---|---|---|
| 長谷部徳次 | 76 | 川根谷内 |
| 藤崎スミ | 70 | 二本木下 |
| 斎藤一郎 | 73 | 横越上 |

## シリーズ 阿賀野川の風物と幸（さち）

### 寒やつめ

今年の表紙（顔）は阿賀野川の四季折々の景色と川の産物を紹介して行きます。

やつめは、「八ツ目鰻」といって姿、形がうなぎによく似ており蒲焼きの味は、うなぎに勝るとも劣らず、酒の肴に最高。通の人は寒やつめを逃さず賞味します。串ざしのたごめ焼は野趣に満ちた味。ブツ切の熱いみそ汁は風味よく腹の底から温まる。

今年は、不漁で冷たい水が痛く感ずるそうですが、幸を求めて時を忘れるといいます。

## 2月保健業務

（会場―横越村公民館　対象―全村）

| 日 | 曜 | 時間 | 内容 | 対象者 |
|---|---|---|---|---|
| 22日 | 月 | 午後1.30～ | 1才6ヵ月検診 | 55年6月7月8月生れ |
| 24日 | 水 | 午前9.00～ | 母親学級 | 妊娠届のあったもので未受講の者 |
| 25日 | 木 | 午後1.30～ | 乳児検診 | 56年2月7月11月生れ |